

No.627 (改題587号)
2023年
8月9日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

ひょうご

碑

69

物語

戦時中、姫路は「軍都」と呼ばれていた。現在、市民の憩いの場になっている大手前広場では、当時、軍事演習が行われていたと言つ。

写真の碑には、「歩兵三

十九聯隊は日清戦争後姫路に創設せられ第二次大戦の終るまで姫路城内に屯し文武両道を練磨すること五十有余年平時は国家の中堅となり出でては北満より南洋に至るまで勇躍國難に当たり嚇々たる偉勲を樹つ」とある。姫路城周辺には、他の隊の顕彰碑もあるようだ。日本は、明治維新以降は一転して戦争をする国となった。この第三十九聯隊も50年余の歴史がある。

人間は目の前で実際に起こっていることを現実とし、それを土台に真実とは何かを考える。50年も戦争状態が続くと、これは人間の性だと思ってしまうのだろうか。福沢諭吉も日清戦争を「文野の戦争」と肯定したし、あの心優しい「ゴン狐」の作者・新美南吉も「人間と戦争は切り離せないもの」と言ったと言つ。アメリカの元海兵隊員のアレクサンダー氏は、「日本の子どもの表情が

ら、戦争を知らないことが分る」と言った。平和憲法が国民を守ってくれているからだ、と言つ。



戦時中は「軍都」と呼ばれていた姫路にはこの碑をはじめ他の隊の顕彰碑も城周辺に多くある

【メモ】JR姫路駅から北へ徒歩約15分の姫路城の西隣、好古園のすぐ南。

【森山】ひょうごネット共同代表の山崎貢さんの主催者あいさつのうち講演した大椿さんはまず、この国

歩み始める決意を共有しようと集約された。新しく選出された執行部には、次世代につながるための手だてとして、執行部に学生を含む青年党員や女性党員の増員を行い、書記長にも新しく岡崎彩子さん(前

「防衛産業強化法」では、最悪の国会と言われている」と指摘。十分な審議時間もとらずに採決されたり、野党間の対応が割れたこともあり、政府が提出した法案60本のうち58本が成立し、与党ペースで進んだことを紹介。 「防衛財源確保法」は増税反対で一致する野党がそろって反対したものの、

「原案推進5法」「改正マイナンバー法」「改正入管法」など多くの重要法案で野党の対応が分かれ、

歩兵第三十九聯隊の碑

(姫路市元町)

次世代につなぐ党建設を
新社会党兵庫県本部が定期大会



2027年を見据えた党建設へ新たな一歩を踏み出そうと決意しあった新社会党兵庫県本部の定期大会=7月23日、神戸市中央区

新社会党兵庫県本部(粟原富夫委員長)は7月23日、第29回定期大会を神戸市内で開いた。今大会で掲げられた主要な課題は、組織と運動を次世代につなぐための党建設にさらに新たな一歩を踏み出すこと。結果はたいへん厳しいものであったが、兵庫県本部は、昨夏の参院選・おかげさ彩子選挙から今年4月の統一自治体選挙へと連なる選挙闘争に若い候補者も擁立し、党の命運をかけて全力で闘ってきた。その一連のたかひの総括の中から再確認された課題がこれだ。力不足ははっきりした。だが、次につながる新たな芽も出てきた。これが4年後に向けた再出発の起点だ。

開会にあたり前大会以降に亡くなった3人の党員に黙とうを捧げたのち、冒頭にあいさつした粟原委員長は、「まだまだ小さいが、頑張ってきたからこそ若い芽も育ち始めている。これをさらに大きなものに」と、その課題を強調した。大会には社民党・梶川美佐男県連代表、共産党・松田隆彦県委員委員長、みどりの党・丸尾牧原本部共同代表らが出席。党中央本部からは岡崎ひろみ委員長が出席して先の定期全国大会の討

論などについて報告した。議案提案後、昼食前から始まった大会討論では22人の代議員から発言があった。参議院選挙、統一自治体選挙の総括をめぐっては、候補者として闘った坂井大起さんや要弘太さんをほじめ9人が発言。それぞれに敗因をふくめ次への課題を浮かび上がらせた。

組織活動や大衆運動の関係では、労働運動、各地区の憲法を生かす会の活動、脱原発運動、介護など社会保障をめぐる取り組み、さらには王子公園再整備をめぐる市民運動の取り組みなどの住民自治の分野から13の発言があり、地域での取り組みの真情や成果が具体的に報告された。

これらの発言を踏まえ、改めて諸運動の軸となる党の組織強化・拡大の重

「ストップ!大軍拡・大増税の岸田政治」を掲げた「大椿ゆうこ講演会&交流会」が7月21日、神戸市内で開かれた。主催したのは、憲法を生かす会・ひょうごネット。

先日の第211通常国会では、5年間で43兆円の軍事費を捻出する「防衛財源確保法」、原発の新増設を認め、60年超えの運転も可能にする「原発推進5法」、在留外国人の命までも脅かす「改正入管法」、権利保障とは真逆の「LGBT理解増進法」、健康保険証廃止の「改正マイナンバー法」など次々と悪法が成立したが、今年4月に参議院議員に繰り上げ当選した大椿ゆうこ社民党副党首から国会報告を受け、今後どう私たちが岸田政治に立ち向かっていくのかを考えようと開かれた。

大椿ゆうこ講演会を開催

憲法を生かす会・ひょうごネット



今年4月に繰り上げ当選で参議院議員になった大椿ゆうこさんが国会報告=7月21日、神戸市

要性が焦点化されるとともに、次の党活動の結節点となる4年後の統一自治体選挙に向け、また、それへの重要なステップとして位置付けられる尼崎市議選での新旧交代の実現に向け、党建設と大衆運動の強化への新たな

「ストップ!大軍拡・大増税の岸田政治」を掲げた「大椿ゆうこ講演会&交流会」が7月21日、神戸市内で開かれた。主催したのは、憲法を生かす会・ひょうごネット。

先日の第211通常国会では、5年間で43兆円の軍事費を捻出する「防衛財源確保法」、原発の新増設を認め、60年超えの運転も可能にする「原発推進5法」、在留外国人の命までも脅かす「改正入管法」、権利保障とは真逆の「LGBT理解増進法」、健康保険証廃止の「改正マイナンバー法」など次々と悪法が成立したが、今年4月に参議院議員に繰り上げ当選した大椿ゆうこ社民党副党首から国会報告を受け、今後どう私たちが岸田政治に立ち向かっていくのかを考えようと開かれた。

「防衛産業強化法」では、最悪の国会と言われている」と指摘。十分な審議時間もとらずに採決されたり、野党間の対応が割れたこともあり、政府が提出した法案60本のうち58本が成立し、与党ペースで進んだことを紹介。 「防衛財源確保法」は増税反対で一致する野党がそろって反対したものの、

最後は、悪法は成立したが、あきらめることなく今後は大衆運動で跳ね返していこうと締めくくった。(中村)

水脈

「第二公民党であってもいい」と公言してはばからない日本維新の会が、こんどは「共産党はなくなってもいい」と他党の存在否定を口走った。その出自が自民党から分かれたものであり、共通のDNAを持ったものであることは多くの有権者が知っている。政党政治の忘失である▼このご本人についていえば、その特徴を簡明に言えと求められ、「身を切る」という言葉以外に思い浮かばず、困惑する人も多そう。「維新」というご立派なネーミングが政策を的確に示しているわけではない。まさか、国歌を「君が代」から「宮さん、宮さん」に変える政策を持っているなどと誤解している人はあるまい。「身を切る」と煽りながら、自らの水ぶくれをはかり、野党第一党をめざす矛盾の表れか、最近目立つのは所属議員の資質を問うニュー

# 「反核平和の火リレー」 が出発 (7・28~8・8)



広島市の平和記念公園の「平和の灯」から採った火が実行委員長から第1走者のトーチに移された。7月28日、兵庫県庁玄関前

「語りつづぐ、走り続  
けよう、ヒロシマ・ナガ  
サキの心を」をスローガ  
ンに、核廃絶を訴えて県

内自治体宣言の採択を要  
「反核平和の火リレー」  
第37回となった今年のリ  
レーの出発式が7月28日、  
兵庫県庁前で行われた。  
出発式は、リレーを主  
催する平和友好祭兵庫県  
実行委員会の西田祐樹実  
行委員長のあいさつから  
始まった。西田実行委員  
長は、「反核平和の火リレ  
ー」は1982年に広島  
で始まり、その後は全国  
で取り組まれていること  
を紹介。また、兵庫では  
リレーや学習会の取り組  
みと同時に各自治体に非

核自治体宣言の採択を要  
請してきたことも紹介し、  
昨年豊岡市で採択された  
ので県内で残るのはあと  
1団体だけになったと報  
告した。  
つづいて来賓あいさつ。  
自治労本部・足立副委  
員長、部落解放同盟県  
連・坂本委員長、立憲民  
主党県連・井坂代表、新  
社会党県本部・粟原委員  
長、フォーラム平和・人  
権・環境ひょうごの小林  
事務局長、さらに第26代  
高校生平和大使の松尾美  
雨さん、県総務部総務課

から次々と連帯と激励の  
エールが贈られた。  
その後、西田実行委員  
長の手で広島・平和記念  
公園の「平和の灯」から  
採火した火が第1走者の  
トーチに点火され、リレ  
ーは出発。県内を走り回  
って8月8日にゴールの  
西宮市役所に到着する。  
憲法を生かす会・ひょう  
ごネットは7月27日、  
第49回運営委員会を開き、  
各地区の会のこの間の取  
り組みや今後の企画など  
を交流しあった。  
平和憲法を守る高砂市  
民の会は9月24日に恒例  
の「平和を考える集い」  
を、憲法を生かす北区の  
会は10月12日、14日に沖

## 健康保険証廃止 許さない運動を 憲法を生かす会・ひょうご ネットが運営委員会開催

健康保険証の廃止は国民の  
権利を侵害するもので、  
憲法に違反する。憲法を  
生かす会・ひょうごネッ  
トは、健康保険証の廃止  
に反対する運動を展開す  
る。運営委員会は、8月  
10日、12日、14日に沖

また、当面の集中的な  
運動課題として、健康保  
険証の廃止強行を許さず、  
マイナンバーカードの問  
題を訴える行動を強めよ  
うと確認した。その一環  
として憲法を生かす会・  
会を予定している。  
**ストップ！マイナ保険証 市民の集い**  
●9月23日(土) 祝14時  
●長田区文化センター・大会議室  
●講演 白石孝さん(フライバシアーアクション代表)  
●参加費8000円  
〈主催〉憲法を生かす会・西神戸連絡会

いような状況にある。

広島・長崎の被爆から78年目の夏がやってきた。この1年でも9千人余りの被爆者がこの世を去っていった。10年ほど前までだったろうか、被爆者は「われわれの目が黒いうちに」核廃絶を成し遂げようと呼びかけていた。しかし、昨今はそういう言葉が聞かれなくなった。それは必ずしもわれわれが超高齢化してしまったからばかりではない。あまりにもその望みに逆行する状況が多すぎるからである。

今年5月19日から21日まで開かれた広島G7サミットは、そもそも期待を置いていなかったがあまりにも酷かった。会議を前に米大統領との会談で核抑止力をより強固にする約束をとりつけるなど核兵器使用を前提としたものであった。広島ビジョンに至ってはロシアなどの核を非難する一方、G7諸国の核はこれをよしとするなど矛盾もいろいろあった。かつて「きれいな核(原爆)」という言葉が使われたことを覚えている向きもあろうが同じことである。

## 78年核兵器は廃絶するしかない 日本政府は核禁条約批准を 被曝

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

私は丸腰でいとは思っていないが、軍拡競争には際限がないし、人々の経済生活を窮地に追いやる。紛争や戦争は人間が引き起こすものであり、外交努力で少しでも解決への道を見つけていくことが可能ではないかと思っ

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

## 私の主張

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

頻りに起こる、すでに常態化した地球規模での自然災害や、確実に来る大震災など人間力では抗うことのできないことへの備えは、しなくてはならない。

# 関生支部への弾圧はね返せ

## 光榮・昌榮産業は労働委命令を履行せよ

### 神戸で「兵庫集会」とデモ

7・17



猛暑の炎天下をデモ行進して弾圧の不当性を市民にアピール＝7月17日、神戸市兵庫区

連帯ユニオン関西地区生コン支部(略称・関生支部)にかけられた、労働組合つづしをねらう大弾圧をはね返そうと、関生弾圧粉砕!光榮・昌榮産業は労働委員会命令を守れ、履行せよ!」をスローガンに掲げた集会在7月17日、神戸市兵庫区

の荒田公園で開かれた。3連休最後の日の午前10時からの炎天下での集会にもかかわらず120人余が参加し、熱い「兵庫集会」となった。

神戸市北区にある光榮・昌榮産業での雇い止めをめぐって大阪府労働委員会は20年6月に不当労働行為を認定し救済命令を出しているにもかかわらず、同社は今なおその命令を履行していない(中労委で係争中)。

大弾圧を許さない実行委員会から関生支部弾圧をめぐる近況報告が行われ、続いて雇止めされた当該の2人の組合員から決意表明が行われた。それらを受け、地元の兵庫からは、ひょうごユニオンの岡崎委員長、全港湾神戸支部の碓氷委員長、兵庫県職労の土書書記長がそれぞれ連帯のあいさつを行った。



姫路ユニオン(細川雅弘委員長)は7月16日、第27回定期大会を姫路市内で開催した(写真)。

姫路ユニオン(細川雅弘委員長)は7月16日、第27回定期大会を姫路市内で開催した(写真)。

来賓の岡崎進・ひょうごユニオン委員長と横山良介・はりまユニオン委員長には大会後の意見交換会まで討論に加わってもらった。

## 王子公園に大学が来たらこまる!市民の大集会

●8月27日(日)14時～  
●動物園ホール(阪急・王子公園駅北西)  
●参加費無料  
今のスタジアムの場所に大学が来たら。近隣に光害・騒音の不安、車の渋滞の恐れ。プール、現テニスコート、サブグラウンド、相撲場が廃止に。旧ハンター邸も移築。そして樹木の大量伐採も…。  
〔王子公園・市民ミーティング〕主催 実行委員会078・200・6361

## 2023夏季教育セミナー

「教育は社会をどう変えたのか」  
講師 桜井智恵子さん(関西学院大学教授)  
●8月20日(日)13時30分～16時30分  
●あすつがKOBBE・セミナー室  
●参加費5000円  
〔主催〕教育労働運動研究会  
〔後援〕アイ女性会議ひょうご  
078・361・3655

## 地域ユニオン あちこちあれこれ (415)

最近の労働相談の中には、労働局、労基署、無料弁護士と相談を経て、その後ユニオンに来る

ケースがある。そうしてユニオンに加入し団体交渉の場を設けることを希望する。

本件は、大手家電量販店から倉庫関連の業務委託を受けている会社で直勤務で働くA君の相談だった。職場の上司から「わが社には解雇はない、自己退職してくれ」と

内容をあつた。これを受け、ユニオンは会社と交渉を開始。不当な解雇発言であり認められないと謝罪を求めるとともに、配転にも正当

性がないと強く抗議した。会社は解雇発言については陳謝し、配転については「委託会社から、A君の作業対応などから倉庫関連の仕事から外すことを要求されている」と回答があった。

ユニオンは、雇用関係にない委託会社が発言できることではないと抗議

はユニオンの要求にほぼ

「わが社には解雇はない、自己退職してくれ」と「自分は解雇されるような事はしていない。退職

は絶対にしては」と回答すると、上司は「事務作業に変わってほしい」と配置転換(別ビルに配転)を強要されているという

社に倉庫業務を全面的に依存している下でA君の現状維持は難しい、「配転してもらえないならば直勤務の手当分は保証する」との回答があり、さ

らに退職前提の金銭解決の申し出の提案もあった。会社提案を受けてのユニオンの協議で、家庭状況や出勤停止となつて

沿う内容で受結した。こうした経過のち、A君には組合員継続の依頼も行ったが、残念ながらそうはならなかった。

## ユニオンの組織強化の必要性

# 夏の晩酌を楽しみたい、でも糖分が気になるあなたに!

連日の「命に係わる」暑さ! せめてもの晩酌を楽しみにされている方もあるでしょう。そんな時、**黒糖焼酎**はいかがでしょう。鹿児島県奄美群島のみで作られる黒糖焼酎はサトウキビの絞り汁から作る純黒砂糖と米麹が主原料です。1回だけ行われる蒸留の際に、黒糖や米麹の糖分は酵母と反応してエチルアルコールに変化。原料に含まれる糖分は「ゼロ」へと変化します。芳醇な風味は加わりますが糖分はゼロとなるのです。他の焼酎と同様に、ストレート、オンザロック、水割り、お湯割り、炭酸水割りなど様々に楽しんでいただけます。一度お試しください。※お酒は20歳になってから! **飲みすぎないよう気を付けましょう。**



**お薦め! あまんゆ**  
奄美大島にしかわ酒造  
27度 900ml 1,400円  
奄美群島限定販売が解禁された美酒! 甕壺仕込みで醸し出される甘い風味と柑橘系の爽やかな香りがバランスよくソフトに表現された逸品です。



**マイルドハ千代**  
西平本家(株)  
30度 900ml 1,500円  
蔵の代表銘柄。ほのかな黒糖の香りと透明感のあるすっきりとした味わいです。



**浜千鳥乃詩原酒**  
奄美大島酒造(株)  
38度 720ml 2,900円  
7年以上熟成させた古酒。黒糖を食べているかのような、旨味が凝縮された甘い香りや深いコクのある原酒。

# おんなの目

バックラッシュが激しくなっている。LGBT法案の審議にあたって猛烈な抵抗があったのは、その典型的なものだ。自民党の福田朋美議員でさえ、一貫して夫婦別姓法やLGBT法の成立を目指してきたがゆえに、裏切り者と罵倒されていると明かした。

バックラッシュ勢力はおおむね男性である。彼らは何を恐れているのか。ここ数年でマイノリティの人権に関する大きな喜ばしい変化があった。Me Too運動をきっかけとして、今まで沈黙を強いられてきた女性たちが性的暴力に抗議の声を上げた。比較的軽いセクハラにも嫌なものは嫌と言いはじめた。プライドパレードは、デモに抵抗感があるという若い人たちにも受け入れられているし、ジャーナリズム事務所の問題をきっかけとして、性的暴力の被害者となる男性が実は驚くほど多数存在することも明らかになっている。

さまざまな場面で、確かに空気が変わったのだ。スポーツに取り組み子どもたちを怒鳴ったり殴ったりする監督や、産休を申し出た女性を退職させようとする上司は、まだまだ淘汰されていないだろうが、非難されるべきものという社会的合意が確立した。

ところが、「社会が変わることを良しとしない人々がいる。今まで自分の方が明らかに優位に立っていたのに、下にいると思っていた人間たちが権利を主張し、しかもそれが認められる風潮が出てきた。不愉快きわまりない、というわけだ。」

われて、自分には何も誇るものがないと思っていれば、SNSで自分と何の接点もない有名人に罵詈雑言を浴びせるかもしれない。カバンの中にナイフを忍ばせて、いつかエラそうにしている女を刺してやると決心しているかもしれない。

## バックラッシュの抵抗

朝日新聞の女性記者が、雑踏の中でいきなり突進してきた男に吹っ飛ばされ、骨折したという経験を書いていた。これは「ぶつかり男」と呼ばれ、珍しくないらしい。小柄な女性ほどターゲットにされる傾向もあるという。男はあつという間に姿を消し、顔を見る暇さえなかったが、彼女は警察に被害届を出した。

自分より弱い者を選んでターゲットにする心の持ち主は、その人も弱さを抱えているのだ。誰にでも弱さはある。せめて自分の弱さを話せる相手を探してほしい。同じ弱さをもつ仲間がいればなおいい。たとえば収入が少なくてもカツカツの生活しかできなくても、自分の特性のゆえにどこへ行っても生きづらくても、それは君が悪いんじゃない。闘うべき敵は別にいる。



## 『無限発話 買われた私たちが語る性売買の現場』 性売買経験当事者ネットワーク・ワーク・ムンチ著／梨の木舎／1800円＋税

こんな衝撃を受けた本はない。女性差別の極致ともいえるべき性産業に働く女性たちの体験が、自分の言葉で、また当事者たちの対談として語り続けられる。目が文字にきき付いて、涙がとめどなく流れて、こういう世界があることを、自分と切り離して考えたいことを厳しく糾弾される思いがした。知らなかったですませることは許されない。

《長いこと性売買をしていると自身の身に何が起きているのか気づかないまま過ぎてしまうよ。今でも「私はこんな目に遭いました」と語らなければならないのは、その搾取についてきちんと知り、きちんと知らせなきゃならないから。》

《世間から白い目で見られながら生きていくことも、自分を汚れてるって思ってたことも、被書に遭うなんて平気で言う人もいるよね。性売買をしていて私だって罪のない女性なのよ。親から殴られながら成長したりしなかったら、帰りに道にレイプされたりしなかったら、社会が私を保護してくれていたなら、私も世間の言う罪のない女性だったはずよ。勝手な思い込みで「性売買をする女」と「ぶつかり女」がいるなんて想像しないで。》

## 本棚

### 僕たちの哲学教室

イギリス・北アイルランドの首都ベルファスト。この町は造船で栄え、1912年に水山に衝突して沈没したタイタニック号が進水したことで有名な町である。

近年では北アイルランド紛争の勃発によりプロテスタントとカトリックの対立が長く続き、19

98年の和平合意までの30年間に3600人近い犠牲者を出した苦い歴史を抱えている。

現在も、「平和の壁」と呼ばれる分離壁が存在し、壁を隔てて2つの異なる宗教・思想を持つ人が住むという現実は今も続いている。

この映画は、宗教的・政治的対立の記憶と分断が今なお残るこの町で、哲学的な思考と対話による問題解決をめざすケヴィン校長の日常的な挑戦を描くドキュメンタリーである。

### 性産業で働いた当事者が語る体験

性売買女性への支援が始まった。その最大の成果が、韓国各地の性売買経験当事者が自発的に集まって2006年に結成した「性売買経験当事者ネットワーク・ムンチ」だ。「ムンチ」とは「一致団結する」という意味の韓国語「ムンチダ」からきていて、その名前の通り、彼女たちはお互いの体験を語り、気づき、団結することで強くなった。性売買の現場から抜け出した彼女たちは、「私と同じような苦しみを味わっている人たちに寄り添い、に語り続けている。

《私はお腹をすかせ寝るところもない19歳の家出少女だった。お腹いっぱい食べさせてやる、寝泊まりする場所も提供してやるという彼らについて行ったことを私の自発的な選択だという人たちに、本当に主体的な選択とどんなものか知ってもらいたい。あの頃私をほろぼろにしたのは自分自身だと思ってしまう。今でも罪悪感から悪夢を見る。そんな自分を許せるようになり、自分自身の過ちではなかったと今ならわかる。肉体も精神も感情も搾取する買春者と斡旋業者そして性産業の構造にフォーカスを合わせなければならぬ。》

まだまだ問題は山積しているとはいえ、性売買禁止法を制定し、「集結地（いわゆる歓楽街・私娼街）」もずいぶん縮小した韓国に比べ、ポルノ天国、AV天国（AVの制作が合法なのは日本とアメリカだけだぞうだ）と言われる日本。元町駅から「いちごなび」と書いた大きな看板が見える。買春春がこんなに大っぴらに氾濫しているのが今の日本だ。この社会を支えているのが、性売買を必要ものだと考える男や女の意識ではないか。

見ようとしなければ見えない問題かもしれない。だが自分に関係ないと目を背けている人は、憲法改悪？ 関係ない、原発？ 関係ない、沖縄？ 関係ない、入管法？ 関係ない、生活保護？ 関係ない等という人ではないだろうか。



スキンヘッドのケヴィン校長は、エルヴィス・プレスリーを鼻歌まじりに学内を歩き、校長室に呼ぶ生徒たちは、毎朝、

## 子どもも達と校長の「対話」の授業

登校時に迎えてくれる校長とうれしそうにハグし合ったり和やかな雰囲気の中で1日のスタートが切られる。

哲学の授業はケヴィン校長の問いかけから始まる。「不安とは何か？」「怒りとは『よい友達』は？」「子どもたちが日常的に抱く思いを述べることで、お互いの理解を深め合う。さらには「考えて、考えて、答えること」が哲学の基礎であることを説く。

北アイルランドに住む大人にとって、対立と暴力は「生活」だった。けれども、対立が緩和された時代に生まれ育った子どもたちは違う。やられたらやり返す報復の反復を断ち切るには、これま

では違う教育が必要となる。世代から世代と受け継がれてきた感情の連鎖に終止符を打つために、これは政治家だけでは解決できず、学校現場におけるケヴィン校長と共に教育に携わる教員の努力と実践によって成し遂げられると、監督デクラン・マックグラは語る。

2023年4月、ケヴィン校長と監督、プロデューサーが来日し、特別上映会が開催された。さらに横須賀学院小学校を訪問し、授業・交流が実現した。

監督ヒナサ・ニキアナン、デクラン・マックグラノアイルランド・イギリス・ベルギー・フランスノ2021年ノ100分

## シネマランド